



ロゴマーク（左 セーフワーク神奈川 右 陸災防）

陸災防神奈川県支部

川崎南労働基準監督署長・陸災防川崎南分会長が「荷役作業合同安全パトロール」を実施しました。

陸災防の本年度の「年末・年始労働災害防止強調運動」（令和6年12月1日から令和7年1月31日までの2か月間）の開始2日目となる12月2日に、陸運業の各事業場における安全意識を高め、災害防止についてさらに取り組む契機にするため、「荷役作業合同安全パトロール」を行いました。周知広報を図る必要から報道機関への公開パトロールで実施されました。

労働災害発生状況（休業4日以上之死傷災害）をみると、本年と昨年10月末と比較して、神奈川県全体では道路貨物運送業で4.4%、陸上貨物運送業で32.5%と増加しています。また、川崎南労働基準監督署管内（川崎市川崎区・幸区）の休業4日以上之死傷災害は道路貨物運送業で25.3%の減少、陸上貨物運送業で5.4%の増加の状況ですが、大幅減の道路貨物運送業でも、ほぼ建設業の死傷件数と同数となっています。

パトロール先は NX商事株式会社 ロジスティクス・サポート事業部 川崎LSセンター（川崎市川崎区田辺新田2-1）で、当拠点では、産業用ロボット、産業用マシン、半導体設備、産業用エンジン・パーツの梱包、コンテナバンニング（輸出貨物をコンテナに積み込む作業）を行っています。作業名としては、製函作業（梱包する製品を入れる函の製造）、梱包作業、コンテナバンニングに区分けされていました。

○現場の説明・誘導 横澤センター長、業務課長、生産管理課長、品質保証課長

○川崎南労働基準監督署 渋谷署長、青山副署長、高橋安全衛生課長

○陸災防 川崎南分会 高橋分会長、柴原事務局長

神奈川県支部 吉田事務局長



写真番号1

2F 会議室

川崎南労働基準監督署長・
陸災防川崎南分会長 挨拶
(写真は渋谷監督署長の挨拶)

陸運業の休業 4 日以上
の死傷災害は、製造業、建設業と
並んで多い状況です。陸運業の
災害を減少させることは、喫緊の
課題です。



写真番号2

1F ロビー

事業場の概要説明後、1F ロビーに降りて、パトロール場所での保護帽の着用、安全通路の歩行を確認し、パトロールに出るところ。

右 川崎南労働基準監督署
渋谷監督署長

左 川崎南分会
高橋分会長(副支部長)



写真番号3

(新棟 1 階)

バンニングピット(4レーン)

パトロール時は左 3 レーンが
使用中であった。

トラックバースとも呼ばれる
場所で、荷積み、荷卸しをする
ためにトラックを施設に接
車させるスペース

「止まれ」の表示

「横断歩道」(歩行者通路)の表示

産業用マシン等を輸送時に梱包する大型ケース

天井クレーン



写真番号4

(1.2号棟 入口)
「梱包／荷捌き場」入口から
左側部分の状況

川崎南分会長が説明を受け、
作業状況を確認しているところ

段ボール梱包

安全掲示板



写真番号5

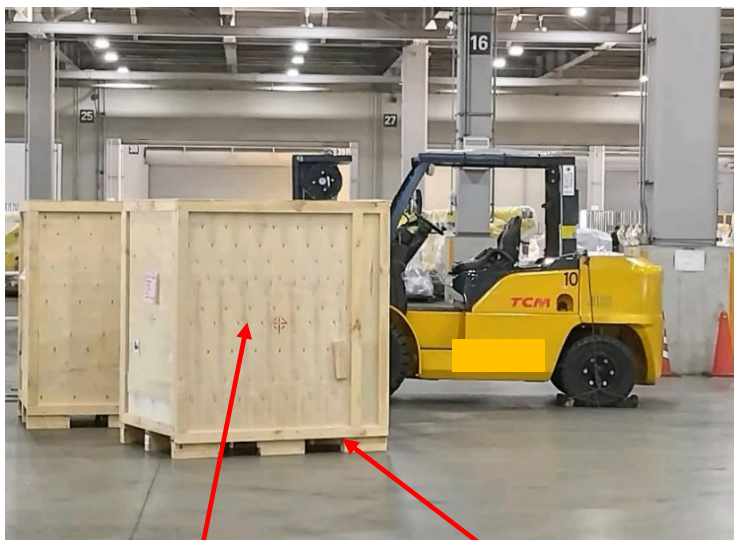
(1.2号棟 内部)
写真は「梱包／荷捌き場」
右側部分

「梱包／荷捌き場」の説明
を受けているところ

監督署長、分会長の後ろは
安全掲示板

歩行者通路 (オレンジのラインの間の緑色部分)

鋼製スキッド (スキッドは写真6で説明)



写真番号6

(新棟)
「保管場所／梱包場」

スキッド:
パレットの爪を通す部分の
下側がないもの(下駄の形
状)

木箱梱包 (密閉木製ケース)

木製スキッド (木製ケースと一体型)



作業状況のタイムテーブル（赤の縦線が現在時刻）

写真番号7
 (新棟2F)
 事務室
 車両予約システムの説明を受けているところ
 車両予約システムを導入し、現時点での入庫、荷役の作業状況については、ボード全体に表示されている。
 車両の入構時間と荷役作業をリンクさせて、効率化が図られている。車両の待機時間を30分程度に抑えている。(2024年問題への対応)



写真番号8
 パトロール結果についての川崎南労働基準監督署長、川崎南分会長の講評
 写真は川崎南分会長が講評しているところ
 右側は説明・案内をいただいた横澤センター長
 (分会長が申し述べた内容)
 整理整頓がされた作業場所でした。また、広い構内でフォークリフトの運転は周囲が見通せる環境でした。
 パトロール事業場として協力いただき、ありがとうございました。